

現代宗教研究所研究誌『現代宗教研究』「所報」総目次

所報 第一号 昭和42年3月1日発行

シンポジウム 本尊論の再検討

茂田井 教 亨・執行 海秀・室住 一妙・浅井 円道

勝 呂 信 静・渡 辺 宝 陽・近 江 幸 正

創価学会・公明党のイデオロギー……………中 濃 教 篤

教団調査の問題 — 宗勢調査集計を終えて — ……望 月 一 靖

真宗大谷派・「同朋の会」運動調査レポート……………望 月 一 靖

望 月 一 靖・木 村 勝 行・丸 山 照 雄

日蓮宗寺院活動における地域社会と大衆の問題……………望 月 一 靖

書 評 戸 頌 重 基 著・「鎌倉仏教と日蓮」……………近 江 幸 江

所報 第二号 昭和43年3月10日発行

宗義大綱「解説」作成の経過

「宗義大綱」解説の仕事を終えて……………茂 田 井 教 亨

頌 詩……………室 住 一 妙

現代における伝道の問題……………長 谷 川 正 徳

— 故望月敏厚先生追悼にかえて — ……茂 田 井 教 亨

「望月宗学」の後に来るもの……………茂 田 井 教 亨

日蓮宗白書作成のための計画原案

教団調査の問題について……………木 村 勝 行

書 評 大谷大学編「宗教学研究會紀要」について……………小 松 邦 彰

所

報

別冊 第一号

昭和44年2月1日発行

現代の伝道・第一回教化研究会議記録

片山日幹

伊藤日端

茂田井教亨

長谷川正徳

米沢教隆

近江幸正

望月一靖

上田栄寿

近江幸正

冠賢一

遠藤教温

中濃教篤

石川康明

調査部報告

I 真宗大谷派「同朋の会」運動調査レポート(2)

II 伝統仏教諸教団における自己改革運動について

III 教団における教育の問題

IV 修験道予備調査について

| | |
|----------------------------|-------|
| 視聴覚伝道 | 片山宣英 |
| 音楽伝道 | 村上俊正 |
| 新興宗教の組織から学ぶものと批判するもの | 中濃教篤 |
| 都市における伝道の諸問題 | 酒井謙祐 |
| 農村における伝道の諸問題 | 丸山照雄 |
| 各地布教の現状 | |
| 1 北海道の現状 | 松井義海 |
| 2 秋田県の現状 | 本名瀬寛明 |
| 3 新潟県の現状 | 相沢是淳 |
| 4 神奈川県の実状 | 守屋日裕 |
| 5 岐阜県の現状 | 加藤超進 |
| 6 岡山県の現状 | 井藤泰然 |
| 青少年教化について シンポジウム | |
| 一般寺院の信徒青年会のもち方 | 藤井教雄 |
| 青年心理と教化の実際について | 今成元昭 |
| 社会教育と宗門教化 | 小山海信 |
| 学校教育と宗教教育 | 木村勝行 |
| 宗門組織と青年会運動 | 菅野啓淳 |
| その一・その二・その三・その四・その五その六・その七 | 討論 |
| 閉会のことば | 茂田井教亨 |
| 伝道の歴史 シンポジウム | |
| 日蓮宗と伝道 | |

影山堯雄・宮崎英修他

本門成壇義……………室住一妙

「宗義大綱」に対する疑義に答う……………茂田井教亨

宗 学 論……………渡辺宝陽

近代化の宗教的基盤……………望月哲也

教団の現代的課題への姿勢……………長谷川正徳

近代教団史研究

I 「妹尾義郎」ノート……………中濃教篤

II 近世後期における「日蓮聖人伝」の出版……………冠 賢一

III 「勅額拝戴」について……………石川康明

「同朋の会」運動について

1 近代真宗の歩みと宗学―曾我量深老学匠と茂田井教亨教授の対談記録―

2 「同朋の会」運動の精神と展望―訓勸信雄総長を訪ねて―……………茂田井教亨

読書ノート 望月歆厚著「日蓮宗学説史」(他)

日蓮宗関係主要著作・論文目録(最近)……………現代宗教研究所

調査部報告

I 護法運動伊豆国支部の活動……………望月哲也

II 新興宗教に関する調査研究の問題点……………丸山照雄

III 教団における教育の問題……………木村勝行

IV 修験道調査研究……………望月一靖

第一回日蓮宗教化研究会議アンケート調査レポート

現宗研設立後の経過について

教化活動の現状と未来への展望・第二回教化研究会議記録

片山日幹
小川英一
宮崎英修
伊藤如顕
平元義雄
室伏祐厚
北川即正
牛居一教
新間智照
千野信和
米沢教隆
中濃教篤
中野文海
市川智康
茂田井教亨
三田村竜全
渡辺清明
石川康明

記念講演 日蓮教団の未来像

伊豆国護運動の経験 地域における教化活動の問題点とその展望

東北農村の社会的現状と教化活動

地域公害と教化活動

個人教化の必要性とその工夫

第一分科会・統一テーマ 教化活動における理念と技術的側面との結合

個人教化の必要性とその工夫

集団教化と媒体（メディア）の重要性

単位寺院における青少年教化の実際

第二分科会・統一テーマ 教団における組織的教化活動について

日蓮宗新聞をいかに支え運用していくべきか

教化活動と社会問題の関連

兼職者の宗門人としてのあり方

合同分科会・統一テーマ 教化活動における理念と技術的側面との結合

真宗大谷派「同期の会」運動信徒研修の参加報告

教師の倫理と宗義の実践

教団としての教化カリキュラム作成について

総括報告

渡辺清明・石川康明

所 報

閉会の挨拶……………渡 辺 公 允・田 中 日 堂・小 川 英 一・塩 田 義 郎
 その一・その二・その三・その四・その五・その六・全体討論……………討論

討議資料・シンポジウム

信教の自由について

憲法・安保・靖国問題を中心として……………

： 鈴 木 安 藏・中 濃 教 篤・近 江 幸 正・木 村 勝 行

資料「文書伝道資料展目録」

第四号 昭和45年3月10日発行

現代と教化……………長谷川 正徳

情報化社会と宗教……………新間 智照

農村教化の展開について……………平 元 義 雄

靖国神社国営化と安保体制……………近 江 幸 正

純粹宗学と現代……………室 住 一 妙

本 尊 親 私 見……………勝 呂 信 静

曼 荼 羅 私 見……………浅 井 円 道

「釈迦仏・法華経」覚え書き……………渡 辺 宝 陽

法要儀式に関する諸問題……………木 村 勝 行

マックス・ウェーバーの宗教倫理論……………望 月 哲 也

信教の自由の理念と歴史……………石 川 康 明

天皇制と新興宗教（対談）……………奥 村 健 太 郎・丸 山 照 雄

真宗教団史に見るその崩壊への系譜……………吉 岡 亨

討 論 立正大学における理念と経営の危機をめぐって……………丸 山 照 雄（他）

| | |
|---------------|------|
| 宗門から見た立正大学の問題 | 望月一靖 |
| 近代教団史研究 | |

| | |
|---------------|---------------|
| 幕末日蓮系新興教団の動向 | 冠賢一 |
| 続・「妹尾義郎」ノート | 中濃教篤 |
| 近代日蓮主義の思想と行動 | 石川康明 |
| 戦後日蓮宗教団の動向（I） | 佐久間智周・三谷会祥（他） |
| 創価学会・公明党問題 | |

| | |
|----------------------|------|
| 創価学会をめぐる社会的諸動向と | |
| 「言論の自由」の問題点 | 梅原正紀 |
| シンポジウム・創価学会の教義と思想的特質 | |
| 佐木秋夫・村上重良・中濃教篤・茂田井教亨 | |
| 日蓮宗関係出版・論文目録（II） | |

現代宗教研究

第五号 昭和47年9月5日発行

特集1 もりあがる教化研究活動

| | |
|--------------------|--|
| 「草の根の日蓮宗教師による布教実践」 | |
| 信仰の興隆と教団の使命 | |

| | |
|------------------|-------|
| 農村寺院伝道における教化の問題点 | 木名瀬寛明 |
| 東北農村における信仰意識調査 | 望月一靖 |
| 現代と信仰実践 | 渡辺宝陽 |
| 農村寺院における教化の問題点 | |
| 都市寺院における教化の問題点 | |
| 教師と教化について | |

現代宗教研究

日蓮聖人降誕七五〇年の意義と教団の伝道
記念講演

日蓮聖人降誕七五〇年の意義と教団伝道……………長谷川 正徳

日蓮宗近畿地区教化研究会の報告……………新聞 智照

教団の伝道と青年問題

座談会 現代の伝道における立正安国の意義と実践

特集2 布教カリキュラム試案

―くらやみに灯明をかがげる人間づくり―

仏教保育と両親教育……………三田村 竜全

少年少女教化の実際「修養道場」

―開設の体験から―……………岡 元 鍊 城

第六号 昭和48年3月28日発行

特集1 日蓮宗徒と公害問題

日蓮聖人の教えと公害問題……………

話し手 茂田井 教 亨 聞き手 石川 康 明・内 山 堯 邦

公害問題の輪郭をいかにとらえるか

日蓮宗徒として公害問題にどう対処していくべきか……………渡 辺 清 明

―第五回中央教化研究会議分散会報告―

日蓮宗寺院の公害実態調査報告……………現宗研調査部

特集2 東北の宗教構造をさぐる

死者と語るイタコ信仰……………外 岡 信 昭

―民間の「巫女」の姿をめぐる―

みちのくの新興宗教・松縁神道大和山……………内山 堯 邦
ベトナム仏教徒との対話から
信仰と社会实践は結合しなければならない

研究ノート

日蓮聖人と涅槃経……………久住 謙 是

—日蓮聖人遺文に引用された大般涅槃経を
中心とした涅槃部経典について—

現代宗教研究 第七号 昭和48年10月28日発行

特集 現代伝道論へのアプローチ

寺院を伝道の拠点とするために……………新間 智 照

現代における伝道の意義……………近 江 幸 正

—伝道教団論の糸口として—

青少年教化

少年院教誨について……………三田村 竜 全

—ダイジェスト的叙述—

研究ノート

日蓮聖人における教義弘通の方法論をさぐる

1 日蓮聖人の函書活動を論ず……………石川 康 明

2 『立正安国論八広本』について……………岡 元 鍊 城

現代宗教研究 第八号 昭和49年3月5日発行

宗義大綱解説……………茂田井 教 亨

対談 現代の社会不安と日蓮宗徒の姿勢……………長谷川 正徳・中濃 教篤
研究ノート

竜の口刑場跡考……………久住 謙 是

新居日蓮の事蹟……………宮川 一 敬

『神仏分離史料』整理目録

紹介『妹尾義郎日記』刊行

現代宗教研究 第九号 昭和50年3月28日発行

現代を活かす宗学……………室 住 一 妙

特集 靖国問題と国家神道

1 公葬形式をめぐる神仏の抗争……………中 濃 教 篤

—靖国神社国営化問題に関連して—

2 神社国家護持を批判する……………近 江 幸 正

—高橋智遍師の主張のあやまりを正す—

3 靖国問題の最近の経過と現状……………繩 田 早 苗

4 「靖国法案」反対声明資料

研究ノート

日蓮門下教団と「不敬」問題……………石 川 康 明

—日蓮遺文および曼荼羅勧請の天照八幡「不敬」を中心に—

現代宗教研究 第十号 昭和51年3月30日発行

特集 恩の構造

I 日本人における「恩」の精神史序説……………三 田 村 竜 全

現代宗教研究

第十一号

昭和52年3月28日発行

教化研究会議十年目の歩みと教化目標

教化と報恩―教化論についての覚書

特別寄稿

近代日蓮宗布教史について……………影山堯雄

檀林と法縁―飯高檀林資料紹介を中心に……………伊藤立教

飯高檀林史料 御由緒明細書……………藤井教正

研究ノート

文永八年の法難と日昭上人の動向(一)……………久住謙是

―そのダイジェスト的叙述―

II 恩の歴史的发展……………中濃教篤

III 日蓮聖人の報恩観……………星光諭

―その形成と四恩を中心にして―

IV 真実報恩者の道……………石川康明

資料

日蓮聖人の報恩観をしめす遺文……………星光諭

宗教的信念体系について……………佐藤智雄

研究ノート

I 貞松蓮永寺所蔵

「法要次第及び声明墨譜」について……………早水辨静

II 近世日蓮宗批判史小考……………宮川了篤

―「大聖日蓮深秘伝」について―

天親の『法華論』と法華経引用文例……………山口寿謙
 日蓮聖人の法華経引用についての一考察……………田沢元泰
 書評／
 付・飯高檀林跡略図

現代宗教研究 第十二号 昭和53年3月28日発行

新宗教研究

長松清風と本門仏立講(宗)……………中濃教篤
 天理教の後継者問題……………岡田芳来

公開研究講座

創価学会の内部矛盾と戒壇論……………中濃教篤

教化学研究

魅力ある寺を思う……………三田村竜全
 宗門僧侶教育(法器養成)を考える……………新間智照
 —総合一貫カリキュラム教育試論—
 史料紹介「茗谷学園一覽」

信仰的人格と自律の精神……………石川康明
 第十回中央教化研究会議報告
 第一分会……………小野文珽
 第二分会……………田沢元泰
 第三分会……………小倉光雄

現代宗教研究

第十三号

昭和54年3月5日発行

宗教法の変遷と今後の問題………

中濃 教篤

特集 諫曉と報恩

I 日蓮聖人の「諫曉」についての考察………

近江 幸正

II 報恩思想の徹底―知恵・報恩を論ず………

石川 泰道

III 報恩と現代生活

―明日をひらく報恩の道………

三田村 竜全

研究ノート

吉田松陰と日蓮聖人―草莽崛起の志………

石川 康明

第十一回中央教化研究会議報告

研究書紹介

現代宗教研究

第十四号

昭和55年3月5日発行

特集 第十二回中央教化研究会議

七百遠忌報恩身延教師結集大会

はしがき

特集 第十二回中央教化研究会議身延教師大会………

石川 教張

特集1 教研まとめ報告

行学二道と報恩の教化に結集………

新間 智照

特集2 ルポルタージュ教研大会

祖廟に教化研究の推進を誓う………

丸山 邦雄

特集3 分科会報告(要旨)

第一分科会 寺檀問題と教化活動………

新井 貫厚

第二分科会 子弟教育と法器養成………

灘上 勝仁

| | | |
|--------------------------------------|------------------|------|
| 第三分科会 | 現代の家族関係と幼児・青少年教化 | 遠藤文祥 |
| 第四分科会 | 日蓮聖人の報恩精神と七百遠忌 | 田沢元泰 |
| 第五分科会 | 日蓮宗の現状と教化活動の組織化 | 佐治惠曉 |
| 第六分科会 | 現代社会の諸問題と教化 | 久住謙是 |
| 第十二回中央教化研究会議・七百遠忌報恩身延教師結集大会宣言 | | |
| 参加者の感想 | 教化体験の交流と実践を | |

資料 七百遠忌報恩と伝道教団づくりをめざして

| | |
|----------------------|-------|
| 現代の危機とそれに立ち向う伝道教団づくり | 近江幸正 |
| 寺檀関係を再組織せよ | 本名瀬寛明 |
| 寺院子弟の現状と後継者問題 | 岩堀豊種 |
| 青少年教化と日蓮宗との接点 | 中村潤一 |
| 無二の志を開拓せよ | 石川教張 |
| 本宗の現状を凝視して | 中野文海 |
| 国法上における宗制と宗制における本宗機構 | 長谷川正浩 |
| 本化門下の独自性をもと | 石田良正 |

編集後記